

**「君たちに明日はない」 垣根涼介著 新潮文庫 2007年10月1日発行**

**「借金取りの王子」 垣根涼介著 新潮文庫 2009年11月1日発行**

**「張り込み姫」 垣根涼介著 新潮文庫 2012年3月28日発行**

**「永遠のディーバ」 垣根涼介著 新潮文庫 2017年9月27日発行**

一言で言えば、リストラ、転職、サラリーマンの悲哀の物語。何故リストラされなければならないのか？、人の問題、会社の問題、社会の問題... でも、〇沢〇樹のような重たいものではなく、その辺にいる普通のサラリーマンのお話です。主人公はリストラをするための会社で働く若者、この主人公の物語、リストラ対象者の物語、最後には希望があり読後はさわやかな気分になります。寝る前に読み切れる位の長さの物語が数編で1冊となっていて、全部で4巻あります。どの巻から読んでも、どこから読んでも、楽しく読み進められます。

就職を前にして、リストラなんて学生には関係ないかなとは思うけど、一つの会社で一生を終えることが難しくなってきた日本ですから、そんな時に備えるためにも読んでおいた方が良いおすすめの本です。